

棚田米食べ比べセットの企画及び高校生の田植え体験について

1 概 要

棚田地域は農産物の供給の他、自然環境の保全、良好な景観の形成、伝統文化の継承等の多面的な機能を持っていますが、その維持には地形的条件から高いコストを要するのが実情であり、荒廃の危機に直面しています。

貴重な財産である棚田を保全するために令和元年に棚田地域振興法が制定され、会津地方では同法による振興地域指定を受けた4つの棚田地域の他、複数の地域で棚田の振興活動に取り組んでいます。

これらの地域のうち「川前の棚田」（北塩原村大塩）、「こづちやま棚田」（喜多方市高郷町）、「ほんそんの棚田」（喜多方市高郷町）の3か所では、棚田を広く知ってもらうため、それぞれの棚田で収穫したお米の「食べ比べセット」の販売を企画しています。また、若い人達にも棚田に興味を持ってもらうため、食べ比べセットのラベルデザインを会津若松ザベリオ学園高等学校の生徒が担当します。

今回はこのラベルデザインのイメージを持ってもらうため、ザベリオ学園高等学校の生徒52名が、「川前」の棚田で田植え体験を行います。

2 日時・場所

- (1) 日時：令和7年5月29日（木）14:00～14:30

注 雨天による実施の可否は、下記問い合わせ先へ確認願います。

- (2) 場所：北塩原村大字大塩字長坂

別添の地図参照

- (3) 雨天時の対応

雨天時は代替企画として以下の内容を行います。

ア．実施内容 株式会社あいばせ代表取締役による棚田についての講話

イ．場 所 北塩原村生涯学習センター 体育館

北塩原村大塩下六郎屋敷2134

3 参加人数

- (1) 会津若松ザベリオ学園高等学校 1年生 52名 及び教師等学校関係者
(2) 株式会社あいばせ社員5名、近隣の農家の方2～3名

4 その他・取材時のお願いなど

- (1) 取材にお越しいただける場合、水田の近くには適当な駐車スペースはありません。営農活動や地域の生活の支障にならないよう、ご留意願います。
なお、田植え予定地から約500mの場所には、北塩原生涯学習センターがあり、駐車が可能となっています。

【問い合わせ先】 福島県会津農林事務所企画部

担当 企画部長 先崎 秋実

電話 0242 (29) 5319

FAX 0242 (29) 5389

